

クラミジア 及び B群溶連菌 (G. B. S) による母子感染をご存じですか？

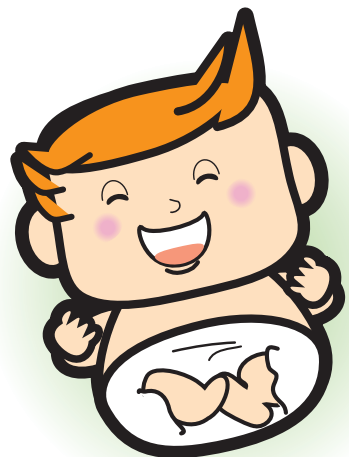
クラミジア

Q. どんな病気？

A. 近年急速に増えてきている性行為感染症の原因のひとつです。

Q. 感染したらどうなるの？

A. 女性は無症状が多いため慢性化の恐れがあり、放っておくと卵管炎さらに不妊症・流産・早産の原因になります。
また赤ちゃんに感染し、結膜炎や肺炎(時には重症)を引き起こす場合もあります。



B群溶連菌 (G. B. S)

A. 新生児の細菌感染症の原因菌として最も多い疾患です。

A. 早産、母体発熱の原因となり、赤ちゃんに感染すると聴力障害・視力障害や死に至ることもあります。

Q. どうやって検査するの？

A. どちらの検査も膣内の帯下を少量採取するだけの簡単なものです。
クラミジアは妊娠初期に、B群溶連菌 (G. B. S) は妊娠後期に行います。

Q. 治療はどんな方法なの？

A. 早く発見すれば抗生物質の服用で比較的簡単に治療できます。
また、感染を繰り返さないためにパートナーも同時に検査・治療をおすすめ致します。



当院では、クラミジア・B群溶連菌 (G. B. S) の母子感染予防目的のため、検査を行っております。
尚、詳しい説明をお聞きになりたい方は、医師の方へお申し付け下さい。